

令和元年度 行政評価表

担当課	議会事務局
章名	第5章町民と行政が協働するまちに暮らす
節名	第3節経営的視点に立った行政運営
施策名	1. 効率性の高い行政運営

施策の内容	目指す姿	安定した自治体経営ができる行政運営の仕組みが整い、あわせて質の高い行政サービスが提供されています。
	現状と課題	町の行財政を取り巻く環境は厳しさを増しています。限りある財源を効率的に運用し、町民が満足できる行政サービスの提供が必要です。 これまで本町では、行政改革や事業評価の導入等により、事務の効率化に努めてきました。今後においても、社会経済情勢の変化や厳しさを増す財政状況を踏まえ、行政改革をさらに進め、その中で選択と集中を徹底し、戦略的な行政経営を目指す必要があります。また、図書館の相互利用や消防指令センターの共同運営など、これまで周辺自治体との連携事業を進めてきましたが、今後はさらなる連携を検討する必要があります。

まちづくり目標値	指標名	現状(平成30年度)
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

成果指標の推移	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
(1)					
(2)					
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	12,706	10,709	0	0	0	10,709

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		様々な議員研修や先進地の視察など、政策研究を積極的に行った。議会広報委員会では議会報告会の開催や、SNSを活用するなど情報発信を積極的に行っており、開かれた議会及び町民参加を推進する議会を目指している。また、わかりやすく興味を持ってもらえるような広報紙を作成できるように研鑽した。さらに、全員協議会の音響システムを改修し、安定した議会運営が行えるようになった。 政務活動費等について各会派から出た意見を検討するなど、積極的な意見交換を行い議会改革を推進している。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	平成25年3月に伊奈町議会基本条例の制定を契機として、議会改革の取り組みが進められ、議員個人の意識改革も求められている。
	住民ニーズの変化について	住民がより参加しやすくなるように、休日及び夜間に議会を開催することや、情報発信の多様化等、より開かれた議会が望まれてきている。
	展開した事業は適切であったか	議会改革に向けた議会運営に寄与することができ、適切であったと思われる。
	施策を達成するうえでの障害について	老朽化に伴う議場、音響施設の改修やIT化による傍聴環境の整備等には、財政的な問題が出てくると思われる。

次年度以降における施策の具体的な方向性	引き続き、議会基本条例に基づく議会運営の改革を推進して行くため質問席の新設が必要となる。また、議場の音響設備の改修については、喫緊の課題である。さらに、議会のタブレット端末の導入、本会議のインターネット配信についても検討する。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	開かれた議会を目指し町民の関心や理解を得るため、議会だよりの発行や議会報告会を開催している。
----------------------	--